

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340890 _ 001

【1.基本情報】

事業名	(公財)岐阜天文台天文教育振興補助金				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	科学館		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体育成(運営)補助金	実施主体	(公財)岐阜天文台
実施期間	平成 9 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市天文台天文教育振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	直接宇宙現象に接する機会を設け、宇宙科学を通じて正しい宇宙観を涵養し、人生観を確立するとともに科学する心を育て、情操を高め健全なる青少年・社会人の育成に努める。				
事業の内容	天文教室・無料一般公開・学校への公開等教育普及				
事業の 対象	何を	天文台育成補助			
	誰に	(公財)岐阜天文台			
	どのくらい	天文教室等に係る経費の一部			
令和3年度 (実施内容)	(公財)岐阜天文台に団体育成補助金を支出				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	34	1	33	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	34	1	33	1	32	1

(2)物にかかるコスト

		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		230	197	230
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	230	197	230
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		230	197	230

(3)総コスト

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	264	230	262

【4.収入】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	264	230	262

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市天文台利用者	岐阜市天文台利用者	岐阜市天文台利用者
受益者数	2,255	442	590
受益者負担額(千円)	46	34	33
受益者負担率(%)	17.4%	14.8%	12.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	117	519	445

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	一般公開		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	24	24	24	
実績値	24	14	13	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	天文台利用者		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	2,000	2,000	2,000	
実績値	2,255	442	590	
達成状況	○(達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	当館と天体観望会等の連携事業を展開しており、利用者は岐阜市民が多く、市内の施設であり市が助成していたが、育成補助としての役割は終えたと判断し、令和4年度より補助金は廃止した。 岐阜天文台は利益を追求するものではない。しかし、育成補助としての役割は終えたと判断し、令和4年度より補助金は廃止した。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	公益財団法人で実施中 岐阜市からの助成金のみである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	当館との連携事業を行い、また、多くの市民に利用されており、公共性の高い施設への助成であるが、育成補助としての役割は終えたと判断し、令和4年度より補助金は廃止した。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	公立博物館の入館料無料原則を踏まえ、民間であるが広く天文普及を目指すことから受益者負担は適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	廃止	当館との連携事業を行い、また、多くの市民に利用されており、公共性の高い施設への助成であるが、育成補助としての役割は終えたと判断し、令和4年度より補助金は廃止した。 なお、令和3年度はコロナ禍のため、一般公開など中止となった。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340890 _ 002

【1.基本情報】

事業名	科学館施設管理				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	科学館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和55年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的	市民の科学に対する興味関心を高め、科学する心や創造力を育み、合わせて科学知識の普及向上を図る。				
事業の内容	科学技術の進歩や自然のすばらしさを感じ取ることのできる展示物更新やプラネタリウム新番組導入等による科学館運営をする。そして、来館者が満足できるサービスの提供をする。				
事業の対象	何を	科学及び自然のすばらしさの体験			
	誰に	入館者(子どもから大人まで)			
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日			
令和3年度(実施内容)	常設展示、各種イベント、プラネタリウム、天体観望会、情報				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,188	182	11,700	360	8,979	278
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	3,349	322	4,275	415	3,924	381
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	9,537	504	15,975	775	12,904	659

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		48,345	77,609	55,738
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	運営管理委託	22,852	24,101	29,262
	施設保守委託	10,140	10,376	10,571
	その他委託	11		232
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		48,345	77,609	55,738

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	57,882	93,584	68,642

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金		869	
県支出金			
市債			
使用料・手数料	11,730	3,802	7,880
その他		59	174
計(F)	11,730	4,730	8,054

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	46,152	88,854	60,588

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	科学館入館者(特別展を除く)	科学館入館者(特別展を除く)	科学館入館者(特別展を除く)
受益者数	79,660	24,316	40,541
受益者負担額(千円)	11,157	3,461	7,498
受益者負担率(%)	19.3%	3.7%	10.9%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	579	3,654	1,494

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	開館日数		単位	日
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	313	305	308	
実績値	288	253	247	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	入館者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	80,000	80,000	80,000	
実績値	79,660	24,316	40,541	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市内小中学校との結びつきが強く、社会教育施設としての博物館の役割から市直営が妥当である。 市内小中学校との結びつきが強く、市民である児童生徒のためにも市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市教育委員会として実施・運営することが効果的である。 科学館としては県内において当館ほどの規模の施設はないため、他に効率的な方法はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	令和2、3年度はコロナ禍の影響があったが、例年入館者数は維持しており、事業の目的は達していると考えます。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市科学館条例に定める観覧料の負担を求める一方、岐阜市科学館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者などとその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館・各種イベントの中止などの影響はあったが、来館者数など回復傾向にある。市内小中学校と連携の維持・向上を目指し、社会教育施設としての博物館の役割を考えると現状維持が妥当である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340890 _ 003

【1.基本情報】

事業名	科学館常設展示				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	科学館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和 55 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的	市民の科学に対する興味関心を高め、科学する心や創造力を育み、合わせて科学知識の普及向上を図る。				
事業の内容	科学技術の進歩や自然のすばらしさを感じ取ることのできる展示物更新やプラネタリウム新番組導入等による科学館運営をする。そして、来館者が満足できるサービスの提供をする。				
事業の対象	何を	科学及び自然のすばらしさの体験			
	誰に	入館者(子どもから大人まで)			
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日			
令和3年度(実施内容)	常設展示、各種イベント、プラネタリウム、天体観望会、情報サービス				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	9,248	272	17,550	540	17,959	556
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	3,671	353	7,086	688	6,438	625
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	12,919	625	24,636	1,228	24,396	1,181

(2)物にかかるコスト

		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		6,079	5,897	5,936
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	展示物保守委託	4,380	4,491	4,491
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		6,079	5,897	5,936

(3)総コスト

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	18,998	30,533	30,332

【4.収入】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	18,998	30,533	30,332

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	科学館入館者(特別展を除く)	科学館入館者(特別展を除く)	科学館入館者(特別展を除く)
受益者数	79,660	24,316	40,541
受益者負担額(千円)	11,157	3,461	7,498
受益者負担率(%)	58.7%	11.3%	24.7%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	238	1,256	748

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	修繕回数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	-	-	-	
実績値	5	8	5	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	入館者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	80,000	80,000	80,000	
実績値	79,660	24,316	40,541	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市内小中学校との結びつきが強く、社会教育施設としての博物館の役割から市直営が妥当である。 市内小中学校との結びつきが強く、市民である児童生徒のためにも市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市教育委員会として実施・運営することが効果的である。 科学館としては県内において当館ほどの規模の施設はないため、他に効率的な方法はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	令和2、3年度はコロナ禍の影響があったが、例年入館者数は維持している。科学の楽しさ・面白さを体験できる。これらのことにより事業の目的は達している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市科学館条例に定める観覧料の負担を求める一方、岐阜市科学館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者などとその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館・各種イベントの中止などの影響はあったが、来館者数など回復傾向にある。市内小中学校と連携の維持・向上を目指し、社会教育施設としての博物館の役割を考えると現状維持が妥当である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340890 _ 004

【1.基本情報】

事業名	科学館プラネタリウム				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	科学館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和 63 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的	市民の科学に対する興味関心を高め、科学する心や創造力を育み、合わせて科学知識の普及向上を図る。				
事業の内容	科学技術の進歩や自然のすばらしさを感じ取ることのできる展示物更新やプラネタリウム新番組導入等による科学館運営をする。そして、来館者が満足できるサービスの提供をする。				
事業の対象	何を	科学及び自然のすばらしさの体験			
	誰に	入館者(子どもから大人まで)			
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日および年末年始を除く毎日			
令和3年度(実施内容)	常設展示、各種イベント、プラネタリウム、天体観望会、情報サービス				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,188	182	11,700	360	8,979	278
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	1,331	128	2,812	273	2,513	244
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	89	19	0		0	
計(A)	7,609	329	14,512	633	11,493	522

(2)物にかかるコスト

		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		14,083	11,978	14,955
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	プラネ番組等使用料	11,755	10,563	13,022
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		14,083	11,978	14,955

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	21,692	26,490	26,448

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	21,692	26,490	26,448

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	科学館入館者(特別展を除く)	科学館入館者(特別展を除く)	科学館入館者(特別展を除く)
受益者数	79,660	24,316	40,541
受益者負担額(千円)	11,157	3,461	7,498
受益者負担率(%)	51.4%	13.1%	28.4%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	272	1,089	652

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	参加人数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	50,000	50,000	50,000	
実績値	42,199	7,297	22,867	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	入館者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	80,000	80,000	80,000	
実績値	79,660	24,316	40,541	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市内小中学校との結びつきが強く、社会教育施設としての博物館の役割から市直営が妥当である。 市内小中学校との結びつきが強く、市民である児童生徒のためにも市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市教育委員会として実施・運営することが効果的である。 科学館としては県内において当館ほどの規模の施設はないため、他に効率的な方法はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	令和2、3年度はコロナ禍の影響があったが、例年入館者数は維持している。小中学校児童生徒向けのプラネタリウム番組もあり、小中学校との結びつきも強い。これらのことにより事業の目的は達している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市科学館条例に定める観覧料の負担を求める一方、岐阜市科学館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者などとその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館・各種イベントの中止などの影響はあったが、来館者数など回復傾向にある。市内小中学校と連携の維持・向上を目指し、社会教育施設としての博物館の役割を考えると現状維持が妥当である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340890 _ 005

【1.基本情報】

事業名	科学館特別展				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	科学館		
実施方法	その他	補助等の種類	その他負担金	実施主体	実行委員会
実施期間	平成 10 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的	科学の魅力とすばらしさを体験・発見をしてもらう場を設け、科学への興味関心を高めてもらう。				
事業の内容	さまざまなテーマについて、通常の常設展示では見られない科学に関する展示を行う。				
事業の 対象	何を	通常では見られない科学に関する展示等			
	誰に	一般市民			
	どのくらい	おおむね夏休み期間中			
令和3年度 (実施内容)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「デジタルはなびパークinぎふ」を中止した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,264	96	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	749	72	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	376	80	0	0	0	0
計(A)	4,389	248	0	0	0	0

(2)物にかかるコスト

		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	11,364		
	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	開催負担金	11,364		
	減価償却費 【施設管理】 (C)	0		
	計(D)=B+C	11,364	0	0

(3)総コスト

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	15,753	0	0

【4.収入】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	9,801		
計(F)	9,801	0	0

【5.収支】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	5,952	0	0

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	特別展入場者	特別展入場者	特別展入場者
受益者数	29,290	-	-
受益者負担額(千円)	14,307	-	-
受益者負担率(%)	90.8%		
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	203		

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	特別展開館日数		単位	日
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	38	35	35	
実績値	38	-	-	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	特別展入場者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	40,000	40,000	20,000	
実績値	29,290	-	-	
達成状況	×(未達成)	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	常設展ではできない規模の展示を行い、博物館として役割を高めているため現状が妥当である。 博物館としての役割を高めているので市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市と岐阜新聞社との実行委員会で実施しており、広くPRもでき率的である。 学校教育との結びつきも強く、公共性が高いため現状が妥当である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	令和2、3年度はコロナ禍の影響により中止したが、例年約4万人の入場者があり、収支の割合も高いため現状が妥当である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	入場者数が多いほど、受益者1人当たりのコストが0円に近くなり、公平性は高い。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	減少傾向にあるが、例年約4万人の入場者があり、収支の割合も高いため現状維持が妥当である。 なお、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、特別展を中止した。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340890 _ 006

【1.基本情報】

事業名	科学くふう展・科学の夢絵画展				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	科学館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和 55 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的	児童生徒の科学に対する芽を育て、豊かな創造性の高揚を図る。				
事業の内容	市内小中学校から、児童生徒の夏休みの工作や絵画の一作品を募集し、展示会で一般市民に披露する。				
事業の 対象	何を	児童生徒の夏休みの工作や絵画の一作品を展示			
	誰に	児童生徒、一般市民			
	どのくらい	9月中旬(作品展開催)			
令和3年度 (実施内容)	9月25日から26日まで、工作397点、絵画132点を展示した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	680	20	650	20	646	20
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	156	15	155	15	155	15
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	94	20	96	20	0	
計(A)	930	55	901	55	801	35

(2)物にかかるコスト

		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		364	236	165
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	報告書印刷	122	100	85
	審査員旅費	26	28	28
	参加賞	85	42	50
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		364	236	165

(3)総コスト

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	1,294	1,137	966

【4.収入】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	1,294	1,137	966

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	くふう展絵画展入場者	くふう展絵画展入場者	くふう展絵画展入場者
受益者数	2,752	1,245	-
受益者負担額(千円)	0	0	-
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	470	913	

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	作品応募点数		単位	点
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	800	800	800	
実績値	648	285	529	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	くふう展絵画展入場者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	2,800	2,800	2,500	
実績値	2,752	1,245	-	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市内小中学校児童生徒の優秀な作品を展示するため、展示発表の場としてニーズがある。 市内小中学校児童生徒の作品であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市教育委員会として実施・運営することが効果的である。 市内小中学校児童生徒の作品であるため、現状維持が妥当である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	児童生徒からの作品の応募で、例年、展示会にもたくさんの市民が訪れており、児童生徒の科学やものづくりへの興味関心・創造力を高める事業として、現状維持が妥当である。なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開放しての展示を中止した。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市内小中学校児童生徒の作品である。そのため、料金を取るべきでない。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	児童生徒からの作品の応募で、展示会にもたくさんの市民が訪れており、児童生徒の科学やものづくりへの興味関心・創造力を高める事業として、現状維持が妥当である。 なお、令和2、3年度はコロナ禍の影響で、夏休みが減ったため、作品数も減少した。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340890 _ 007

【1.基本情報】

事業名	科学館教育活動				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	科学館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和 55 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的	科学への興味、関心を高める。				
事業の内容	植物、石等の観察や電気的な工作・パソコンの演習・習得、木の工作等ものづくりを通して科学への関心を高める。				
事業の対象	何を	科学に関する工作・実験等			
	誰に	小・中学生及びその保護者、成人			
	どのくらい	開館日(子ども向け講座は主に土日)			
令和3年度(実施内容)	科学教室、パソコン教室、発明クラブ、岐阜科学塾、サイエンス工房などの科学教室やサイエンスショーなどを実施				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	37,638	1,107	20,963	645	25,679	795
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	9,599	923	5,696	553	6,829	663
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	47,237	2,030	26,658	1,198	32,507	1,458

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		6,390	3,682	3,025
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	教材費	3,342	1,606	1,189
	開催負担金			
	教材備品費	744	656	521
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		6,390	3,682	3,025

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	53,627	30,340	35,532

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	53,627	30,340	35,532

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	教室等参加者	教室等参加者	教室等参加者
受益者数	42,597	8,671	12,955
受益者負担額(千円)	1,270	276	446
受益者負担率(%)	2.4%	0.9%	1.3%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,259	3,499	2,743

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	講座数	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	125	129	104
実績値	123	79	66

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	講座参加者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	4,904	1,176	1,205
実績値	4,414	1,071	1,065
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	児童生徒向けの講座が多いものの、大人向けの講座もあり、市民ニーズに合っている。 これらの講座は社会教育の1つであり、多くの受講者が市民であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	ほとんどの講座は定員を上回る応募があり、効率性は高い。 一部の講座においては、NPO法人等により対応できる可能性もあるが、講師不足であり、対応できない懸念が考えられる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	ほとんどの講座のアンケートによる満足度は高い。また、当館への来館につながる効果が得られる見込みの取り組みもある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	各講座ごとに受講料を設定し、受益者に費用の一部負担を求め、公平性を高めている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	体調不良などで当日キャンセルする者もいるが、ほとんどの講座で定員を超える応募があり、アンケートによる満足度も高い。現状維持が妥当である。 なお、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館・各種イベントの中止等のため講座開催数など減少した。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340890 _ 008

【1.基本情報】

事業名	科学館サイエンスフェスティバル				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	科学館		
実施方法	その他	補助等の種類	-	実施主体	実行委員会
実施期間	平成24 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的	将来の日本の科学技術を支える人材育成を行うため、広く市民の科学に関する興味関心を高めてレベルアップを図るとともに、理科好きな児童生徒にさらなる科学体験を提供する。				
事業の内容	講演会および科学実験工作展示を行う。				
事業の 対象	何を	通常では体験できない科学に関する講話や実験工作の体験			
	誰に	一般市民			
	どのくらい	11月中旬の土曜日			
令和3年度 (実施内容)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,040	60	585	18	0	0
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	520	50	155	15	0	0
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	2,560	110	740	33	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		2,069	592	
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	開催負担金	2,069	592	
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	
計(D)=B+C		2,069	592	0

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	4,629	1,332	0

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	4,629	1,332	0

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	3,050	290	-
受益者負担額(千円)	0	0	-
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	-
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,518	4,591	-

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	講演会参加者		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	500	250	-	
実績値	450	290	-	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	入場者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	3,000	3,000	-	
実績値	3,050	250	-	
達成状況	○(達成)	×(未達成)	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	レベルの高い科学体験を提供し、博物館として役割を高めているため現状維持が妥当である。 博物館としての役割を高めているので市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	ノーベル賞受賞者などによる講演会を行うため、十分なPRができる。 学校教育との結びつきも強く、公共性が高いため現状維持が妥当である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	毎年約3千人程度の入場者があるため、現状維持が妥当である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	岐阜市文化センターを会場とし、入館料は無料としている。公平性は高い。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	毎年約3千人の入場者があるため現状維持が妥当である。 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出展ブースは取りやめ、講演会のみ行った。